ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名	お申し込み	月額利用料	参　照
留守番電話サービス	要	有料	P.392
キャッチホン	要	有料	P.393
転送でんわサービス	要	無料	P.393
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.394
発信者番号通知	不要	無料	P.45
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.395
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.395

サービス名	お申し込み	月額利用料	参　照
英語ガイダンス	不要	無料	P.395
マルチナンバー	要	有料	P.397
2in1	要	有料	P.398
OFFICEED	要	有料	P.402
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	P.69
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.70
メロディコール	要	有料	P.115

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの「サービスの停止」とは、サービスの契約そのものを解約するものではありません。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

留守番電話サービスを利用する 392
キャッチホンを利用する 393
転送でんわサービスを利用する 393
迷惑電話ストップサービスを利用する 394
番号通知お願いサービスを利用する 395
デュアルネットワークサービスを利用する 395
英語ガイダンスを利用する 395
サービスダイヤルを利用する 396
通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ ..... 〈通話中着信動作選択〉 396
遠隔操作を設定する ..... 〈遠隔操作設定〉 397
マルチナンバーを利用する 397
2in1を利用する 398
OFFICEEDを利用する ..... 〈OFFICEED〉 402
サービスを登録して利用する ..... 〈追加サービス(USSD)登録〉 402

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話にでられないときなどに、音声電話/テレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ(P.72)を同時に設定する場合、留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼び出し時間を伝言メモの応答時間よりも短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に「不在着信」として記録され、待受画面に「」(着信あり)の通知情報アイコンが表示されます。
- 留守番電話サービスは、転送でんわサービスを「開始」に設定した場合、自動的に停止状態になります。

■留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1　サービスを開始に設定する
ステップ2　電話をかけてきた方が伝言を録音/録画する
ステップ3　伝言メッセージを再生する

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[留守番電話]を選び を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
留守番サービス開始※	**[留守番サービス開始]→[開始]/[呼出時間+開始](→呼び出し時間を入力)→[はい]を選択** • [呼出時間+開始]を選択した場合、呼び出し時間(000～120秒)を設定して開始できます。 • [呼出時間+開始]を選択した場合はAナンバーで開始されます。 • 2in1のモードがBモードの場合、開始方法は選択できません。
留守番呼出時間設定	**[留守番呼出時間設定]を選択→呼び出し時間(000～120秒)を入力→ (完了)**
留守番サービス停止※	**[留守番サービス停止]→[はい]を選択**
留守番設定確認	**[留守番設定確認]を選択** • 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。
留守番メッセージ再生※	**[留守番メッセージ再生]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作** • 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。 • 待受画面で (リンク)を押し、「」を選択してもメッセージを再生できます。
留守番サービス設定※	**[留守番サービス設定]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作**
メッセージ問合せ	**[メッセージ問合せ]を選択** • 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面に「」(留守番メッセージ)の通知情報アイコンが表示されます。
件数増加鳴動設定(お買い上げ時:ON)	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、メール着信完了音を鳴らしてお知らせするかどうかを設定します。 **[件数増加鳴動設定]→[ON]/[OFF]を選択**
留守番アイコン消去	**[留守番アイコン消去]→[はい]を選択**
着信通知 開始	電源OFF時や圏外時の着信をSMSでお知らせします。 **[着信通知]→[着信通知開始]→[全着信]/[発番号あり]→[はい]を選択** • 電話帳に登録していても、相手の発信者番号が通知され、電話帳に登録した名前は表示されません。
着信通知 停止	**[着信通知]→[着信通知停止]→[はい]を選択**
着信通知 設定確認	**[着信通知]→[着信通知設定確認]を選択**

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

テレビ電話のサービスについて

- テレビ電話の伝言メッセージをお預かりした場合、SMSでお知らせします。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更する場合は、待受画面で 1 4 1 2 を押し、音声ガイダンスに従って操作してください。
- AV32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューから[DTMF送出モード]に切り替えてください。(P.75)

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- 音声電話中にテレビ電話がかかってきた場合は、音声電話を終了してテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中は、音声電話/テレビ電話を受けられません。着信履歴には記録されます。
- キャッチホンを利用するときは、あらかじめ通話中着信動作選択(P.396)を[通常着信]に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答できません。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[キャッチホン]を選び を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
キャッチホンサービス開始	[キャッチホンサービス開始]→[はい]を選択
キャッチホンサービス停止	[キャッチホンサービス停止]→[はい]を選択
キャッチホンサービス設定確認	[キャッチホンサービス設定確認]を選択

- 現在の通話を保留にして、かかってきた電話に出る場合は、 (通話)を押します。保留中の相手がいる場合、「マルチ接続中」と表示されます。 (呼切替)を押すたびに通話中の相手を切り替えることができます。保留中の通話を終了する場合は、機能メニュー[保留呼切断]を選択します。
- 現在の通話を終了して、かかってきた電話に出る場合は、 を押し、 を押します。

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話/テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(P.72)を同時に設定する場合、転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼び出し時間を伝言メモの応答時間よりも短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に「不在着信」として記録され、待受画面に「 」(着信あり)の通知情報アイコンが表示されます。
- テレビ電話がかかってきた場合、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機でないと切断されます。

■転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1　転送先の電話番号を登録する
ステップ2　転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3　お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4　電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[転送でんわ]を選び を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
転送サービス開始※	**[転送サービス開始]→[開始]/[設定＋開始](→転送先電話番号、呼び出し時間を入力)→[はい]を選択** • [設定＋開始]を選択した場合、転送先電話番号(26桁以内)と呼び出し時間(000～120秒)を設定して開始できます。 • 2in1のモードがBモードの場合、開始方法は選択できません。
転送サービス停止※	**[転送サービス停止]→[はい]を選択**
転送先変更	**[転送先変更]→転送先電話番号(26桁以内)を入力→[設定]/[設定＋開始]を選択** • 2in1のモードがBモードの場合、[転送先変更]→転送先電話番号(26桁以内)を入力→[はい]を選択します。
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合に、留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。 **[転送先通話中時設定]→[接続しない]/[接続する]を選択**
転送サービス設定確認	**[転送サービス設定確認]を選択** • 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

● 転送でんわガイダンスの有無を設定する場合は、待受画面で 1 4 2 9 を押し、音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否できます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。
- 登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]を選び ☰ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
迷惑電話拒否登録	最後に応答した電話番号を登録します。 **[迷惑電話拒否登録]→[はい]を選択**
番号指定拒否登録	**[番号指定拒否登録]→電話番号(22桁以内)を入力→[はい]を選択**
拒否登録全削除	**[拒否登録全削除]→[はい]を選択**
拒否登録1件削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除できます。 **[拒否登録1件削除]→[はい]を選択**
拒否登録件数確認	**[拒否登録件数確認]を選択**

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話/テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 電話番号を通知していない電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。
- 非通知のテレビ電話がかかってきた場合、番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
- 非通知のプッシュトークを着信した場合、番号通知お願いのガイダンスは流れず、切断されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]を選び ▭ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
番号通知お願い開始	**[番号通知お願い開始]→[はい]を選択**
番号通知お願い停止	**[番号通知お願い停止]→[はい]を選択**
番号通知お願い確認	**[番号通知お願い確認]を選択**

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末は、同時に利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[デュアルネットワーク]を選び ▭ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
デュアルネットワーク切替	FOMA端末が利用できるように、デュアルネットワークサービスを切り替えます。**[デュアルネットワーク切替]を選択→ネットワーク暗証番号を入力→[はい]を選択**
デュアルネットワーク状態確認	**[デュアルネットワーク状態確認]を選択**

英語ガイダンスを利用する

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや圏外などの音声ガイダンスを、英語に設定できます。
発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の設定より優先されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[英語ガイダンス]→[ガイダンス設定]を選び ▭ を押す

2 ガイダンスの対象を選び ▭ を押す

[発信+着信]:
発信時に自分が聞くガイダンスと着信時に相手が聞くガイダンスの両方を設定します。

[発信]:
発信時に自分が聞くガイダンスを設定します。

[着信]:
着信時に相手が聞くガイダンスを設定します。

3 発信時のガイダンスの言語を選び ▭ を押す

次ページにつづく

4 着信時のガイダンスの言語を選び を押す

[日本語]:
日本語でガイダンスします。

[日本語+英語]:
日本語→英語の順でガイダンスします。

[英語+日本語]:
英語→日本語の順でガイダンスします。

設定内容を確認する場合
メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[英語ガイダンス]→[ガイダンス設定確認]を選択します。

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[サービスダイヤル]を選び を押す

サービスダイヤル画面が表示されます。

[ドコモ故障問合せ]:
ドコモの故障お問い合わせ先に電話をかけます。

[ドコモ総合案内・受付]:
DoCoMoインフォメーションセンターに電話をかけます。

2 問い合わせ先→[はい]を選び を押す

お問い合わせ先に電話がかかります。

● 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ〈通話中着信動作選択〉

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話/テレビ電話にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話中着信動作選択]を選び を押す

[通常着信]:
電話を受けたり、留守番電話サービスセンターや登録した転送先に手動で転送したりできます。

[留守番電話]:
留守番電話サービスに接続します。

[転送でんわ]:
登録した転送先に転送します。

[着信拒否]:
着信を拒否します。

2 着信動作を選び を押す

通話中の着信動作が設定されます。

通話中着信設定を開始/停止する

通話中着信動作選択で選択した対応を開始/停止します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話中着信設定]を選び を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
通話中着信設定開始	[通話中着信設定開始]→[はい]を選択
通話中着信設定停止	[通話中着信設定停止]→[はい]を選択
通話中着信設定確認	[通話中着信設定確認]を選択

遠隔操作を設定する

〈遠隔操作設定〉

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるように設定します。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[遠隔操作設定]を選び を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
遠隔操作開始	[遠隔操作開始]→[はい]を選択
遠隔操作停止	[遠隔操作停止]→[はい]を選択
遠隔操作設定確認	[遠隔操作設定確認]を選択

マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- 2in1と同時に利用することはできません。

電話番号の詳細を設定する

- 「基本契約番号」の電話番号は変更できません。着信音/着信画像は、着信設定などで設定できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[マルチナンバー]→[電話番号設定]を選び を押す

2 各項目を設定する

項　目	説　明
マルチナンバー発信	マルチナンバー発信の[ON] / [OFF]を選択します。 [ON]　：発信時に使用する電話番号をオプション発信画面で選択できます。 [OFF]：発信時に電話番号を選択できません。
NAME	名前を全角10文字、半角20文字以内で入力します。
/	電話番号を26桁以内で入力します。
♪	着信音をデータBOXのミュージック/iモーション/メロディから選択します。 • 設定可能なファイルは次のとおりです。着うた®は[iモーション]から選択できます。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
ミュージック※	AAC-LC/HE-AAC	5Mバイト以下	—
iモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下
メロディ	SMF/MFi	350Kバイト以下	—

※ ファイルによっては設定できないことがあります。

- 着信音を鳴らさない場合は、[サイレント]を選択します。

次ページにつづく

項　目	説　明
	着信画像をデータBOXのマイピクチャ/iモーションから選択します。 • 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	—
iモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下

※ iモーションによっては設定できないことがあります。

3 (完了)を押す

電話番号の詳細が設定されます。

- マルチナンバー未契約の場合、マルチナンバー発信を[OFF]にしてご利用ください。
- マルチナンバー発信を[ON]に設定した場合、発信中はオプション発信画面で選択したマルチナンバー(基本契約番号/付加番号1/付加番号2)に対応した電話番号と名前が表示されます。

- 着信中は、着信したマルチナンバー(基本契約番号/付加番号1/付加番号2)に対応した電話番号と名前が表示されます。

- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前に発信/着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

発信する電話番号を設定する

電話をかけるときに使用する電話番号を選択できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[マルチナンバー]→[通常発信番号設定]を選び を押す

2 発信する電話番号→[はい]を選び を押す

発信する電話番号が設定されます。

発信する電話番号を確認する場合

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[マルチナンバー]→[通常発信番号確認]を選択します。

- 電話をかけるときにオプション発信画面で使用する電話番号を手動で選択できます。(P.60)

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。
お買い上げ時の設定については、メニュー一覧(P.420)をご覧ください。

モード切替	説　明
Aモード	お客様電話番号(Aナンバー)での発信とiモードメール(Aアドレス)での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号(Bナンバー)での発信とWEBメール(Bアドレス)が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。
- iモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1の詳細は、『ご利用ガイドブック(2in1編)』をご覧ください。

- 2in1利用中に、FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)を行う場合、正しいBナンバーを取得するために、2in1機能OFF (P.400)を行ってから、再度2in1をONにしてください。
FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)を行う場合は、2in1機能OFFを行ってください。
- 外部機器から音声電話/テレビ電話の発信や64Kデータ通信を行った場合、2in1のモードがAモード、デュアルモードのときはAナンバーで、Bモードのときは Bナンバーで発信します。

2in1を設定する

2in1をONにし、モード別待受画面設定、着信回避設定などを行います。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[2in1設定]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 待受画面で 8 を1秒以上押しても2in1設定画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

すでに2in1がONの場合
2in1設定画面が表示されます。

3 [はい]を選び を押す

2in1がONになり、2in1設定画面が表示されます。

4 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
モード切替	2in1のモードを切り替えます。 **[モード切替]→[Aモード]/[Bモード]/[デュアルモード]を選択**
電話帳2in1設定	電話帳に登録された2in1設定を変更します。 ・電話帳登録時は、2in1のモードに対応して、電話帳2in1設定が自動登録されます。 ●1件ずつ設定する **[電話帳2in1設定]→電話帳のデータを選択→ (属性設定)→[A]/[B]/[共通]を選択** ●グループに設定する **[電話帳2in1設定]→ (機能)→[グループ一括設定]→グループを選択→ (属性設定)→[A]/[B]/[共通]を選択**
モード別待受画面設定	Bモードとデュアルモードの待受画面を設定します。 **[モード別待受画面設定]→[Bモード]/[デュアルモード]→データBOXのマイピクチャから画像を選択** ・設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	−

・画像を表示しない場合は、[設定なし]を選択します。

次ページにつづく

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作方法</th></tr>
<tr><td>発着信番号設定</td><td>Bナンバーでの発着信を識別するために、発着信画面の文字色や着信音を設定します。
●文字色を設定する
[発着信番号設定]→[発着信番号表示設定]→[濃]/[淡]を選択
●着信音を設定する
[発着信番号設定]→[Bナンバー着信設定]→[電話着信]/[テレビ電話着信]→データBOXのミュージック/iモーション/メロディから着信音を選択
• 設定可能なファイルは次のとおりです。
<table><tr><th>カテゴリ</th><th>ファイル形式</th><th>ファイルサイズ</th><th>画像サイズ</th></tr><tr><td>ミュージック※</td><td>AAC-LC/HE-AAC</td><td>5Mバイト以下</td><td>—</td></tr><tr><td>iモーション※</td><td>MP4</td><td>10Mバイト以下</td><td>[VGA(640×480)]以下</td></tr><tr><td>メロディ</td><td>SMF/MFi</td><td>350Kバイト以下</td><td>—</td></tr></table>※ ファイルによっては設定できないことがあります。
• テレビ電話着信の場合、[電話着信に連動]に[ON]を選択すると、電話着信音に従います。
• 非通知着信の場合は、[Bナンバー着信設定]の着信音に従います。</td></tr>
<tr><td>2in1機能OFF</td><td>2in1の利用を停止します。
[2in1機能OFF]→[はい]を選択</td></tr>
<tr><td>着信回避設定</td><td>Aナンバー、Bナンバーの着信を制限できます。
●Aナンバー、Bナンバーの着信をそれぞれ制限する
[着信回避設定]→[着信回避設定変更]→[Aナンバー着信回避]/[Bナンバー着信回避]→[着信する]/[着信しない]/[変更しない]→ (完了)
●現在の設定を確認する
[着信回避設定]→[着信回避設定確認]→[はい]を選択</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作方法</th></tr>
<tr><td>着信回避設定</td><td>●モード切替連動を開始/停止する
AモードのときはAナンバーの着信のみを許可し、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときはAナンバー、Bナンバー両方の着信を許可します。
[着信回避設定]→[モード切替連動設定]→[はい]を選択
• モード切替連動設定を「開始」に設定していると、圏外ではモード切り替えができません。
●海外から着信回避設定を行う
[着信回避設定]→[着信回避設定(海外)]→音声ガイダンスに従って操作</td></tr>
</table>

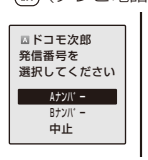
電話をかけるときに発信番号を選ぶ

デュアルモードに設定している場合、使用する電話番号を選択してから発信できます。

1 待受画面で電話番号を入力し、 を押す

テレビ電話をかける場合

ch(テレビ電話)を押します。



2 [Aナンバー]/[Bナンバー]を選び を押す

選択した電話番号から発信します。

● リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前に発信/着信した電話番号が表示され、この番号で発信します。

モードごとに利用できる機能について

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています。（Aモードと共通の動作をするものは除いています）

サービス			Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話/テレビ電話	発信		Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信		すべて		
電話帳	表示		A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※2		A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の電話帳2in1設定		A	B	A
	赤外線通信/iC通信/microSDメモリーカードからの全件受信※3		送信元の電話帳2in1設定をコピー※4		
	赤外線通信/iC通信/microSDメモリーカードからの1件受信※3		A	B	A
	FOMAカード電話帳	FOMA端末からFOMAカードへコピー	共通		
		FOMAカードからFOMA端末へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示		Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示		Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール/SMS	表示		• Aアドレスで送受信したメール • Aナンバーで送受信したSMS	**FOMA端末** • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール(WEBメールサイトで[端末に保存]を選択したメール)や新着通知メール・アラーム通知メール • Bナンバーで受信したSMS **WEBメールサイト** • Bアドレスで送受信したメール	**FOMA端末** • Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール • Aナンバーで送受信したSMS • Bナンバーで受信したSMS **WEBメールサイト** • Bアドレスで送受信したメール
	送信		• Aアドレスからのメール • AナンバーからのSMS	**FOMA端末** • メール・SMS送信不可 **WEBメールサイト** • Bアドレスからのメール	**FOMA端末** • Aアドレスからのメール※5 • AナンバーからのSMS **WEBメールサイト** • Bアドレスからのメール
	受信		• Aアドレス宛のメール/AナンバーへのSMS(鳴動あり) • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール/Bナンバー宛のSMS(鳴動なし)	• Aアドレス宛のメール/AナンバーへのSMS(鳴動なし) • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール/Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)	• Aアドレス宛のメール/AナンバーへのSMS(鳴動あり) • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール/Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)
	赤外線通信/iC通信/microSDメモリーカードからの全件受信※3		送信元の状態をコピー※4		
	赤外線通信/iC通信/microSDメモリーカードからの1件受信※3		A		
	FOMAカード内のSMS	FOMA端末からFOMAカードへコピー	A		
		FOMAカードからFOMA端末へコピー	A		
プッシュトーク	発信		Aナンバー	利用不可	Aナンバー
	着信		Aナンバー		
	プッシュトーク電話帳		表示	表示不可	表示
iアプリ			すべて利用可能	利用可能※6	利用可能※7
電話番号表示			Aナンバー/Aアドレス	Bナンバー/Bアドレス	A・Bナンバー/A・Bアドレス

次ページにつづく

※1 A・共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示します。
※3 電話帳、メールをmicroSDメモリーカードからFOMA端末に保存する場合、microSDメモリーカード上のファイル単位となります。
※4 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※5 デュアルモード時にメールを新規作成する場合、B設定の電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからメール送信されますのでご注意ください。
※6 メール連動型ｉアプリ・メールを利用するｉアプリ・ｉアプリ待受画面は除きます。
※7 ｉアプリ待受画面は除きます。

OFFICEEDを利用する

〈OFFICEED〉

「OFFICEED」は、指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には、別途お申し込みが必要となります。

- 詳細は、ドコモ法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

サービスを登録して利用する

〈追加サービス（USSD）登録〉

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[追加サービス]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
USSDコマンド追加	[USSDコマンド追加]→[未登録]→ ● (編集)→[サービス名]にサービス名称(全角10文字、半角20文字以内)を入力→[USSD]にUSSDコマンド(20桁以内)を入力→ ● (完了) ●サービスを利用する [USSDコマンド追加]→サービスを選択 ●サービスを削除する [USSDコマンド追加]→サービスにカーソルをあわせて ✉ (機能)→[1件削除]を選択(全件削除する場合は[全件削除]を選択→端末暗証番号を入力)→[はい]を選択
応答ワーディング追加	[応答ワーディング追加]→[未登録]→ ● (編集)→[応答ワーディング]に応答メッセージ(全角10文字、半角20文字以内)を入力→[USSD]にUSSDコマンド(20桁以内)を入力→ ● (完了) ●応答ワーディングを削除する [応答ワーディング追加]→ワーディングにカーソルをあわせて ✉ (機能)→[1件削除]を選択(全件削除する場合は[全件削除]を選択→端末暗証番号を入力)→[はい]を選択